

第18回アジア太平洋ギフテッド教育研究大会 2024 プレ・ユースサミット 2023 参加者募集

第18回アジア太平洋ギフテッド教育研究大会が2024年夏に香川県高松市で開催されます。そこでは中学生を対象としたユースサミットも開催されます。それに先立ち、同じ香川県小豆島を会場として、2023年にプレ・ユースサミットを開催します。テーマは、「持続的で公正な未来へ向け地域と世界をつなぐ」です。全国から中学生が集まり、グループに分かれ、地域の特性を活かした探究的な学びを行い、小豆島の持続的な発展について考え、提案を行います。英語のグループもあります。

■概要

- ・実施日 : 2023年8月23日(水)～25日(金)
- ・実施場所 : 小豆島エリア
- ・対象 : 中学生(宿泊も含め全日程参加することが条件となります。参加はお子様のみです。保護者の方が宿泊される場合は各自でご手配等をお願いします。)
- ・募集人数 : 30名(先着順を基本とし、グループ分けから決定します)
- ・集合・解散場所等 : 高松港フェリー乗り場(池田港行き) 13:30 現地集合・12:10 現地解散
<https://shodoshima24.net/ferry/takamatsu-ikeda/>
- ・宿泊場所 : 国民宿舎小豆島『別館』 <https://www.kokuminshukusha.com/> ※相部屋利用。
- ・募集締切 : 2023年7月21日(金)
※30名が決定した時点で締切(7/21)前であっても受付を締め切ります。
- ・参加費 : 30,000円(税込)(現地移動費、地引網参加費、教材費、宿泊2泊、朝食×2、昼食×2、夕食×2、保険料を含む)
振込先 : 伊予銀行 本町支店(101) 普通 3673866 口座名義 : APCG2024
- ・応募方法 : 以下の応募 URL よりお申し込みいただくと共に参加費をお振込ください(振込手数料はご負担ください)。参加費の入金を持って応募完了とします。
お申込後のキャンセルは受け付けません。申込のタイミングから、参加不可となった場合のみ振込手数料も含め、返金いたします。
応募用 URL: <https://forms.gle/kdiXrdFQNWg5JvMM9>
※オンラインにてお申し込みください。



応募用 URL

問い合わせ先 : APCG2024 プレサミット実行委員会

委員長 隅田学(愛媛大学)

副委員長 林敏浩(香川大学)・千葉和義(お茶の水女子大学)

E-mail: apcg2024presummit@gmail.com TEL: 089-927-9441

■主なスケジュール(予定)

8月23日(水)

開会式 ガイダンス 事前学習 夕食 就寝

8月24日(木)

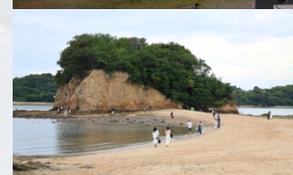
朝食 地引網体験 昼食 グループ別探究活動

夕食 発表準備 就寝

8月25日(金)

朝食 発表準備と発表会 閉会式

- ※参加者に対しては、事前にオンライン説明会を開催予定です。
- ※サミット中に撮影した写真や映像は報告や広報のため、HP等に掲載することがあります。

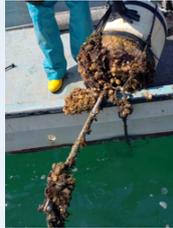


■ プレサミットで行うグループ別探究活動 ※応募時に第1希望～第3希望まで選びます。

探究グループ①

講師：千葉 和義（お茶の水女子大学）

この実習では、カキ養殖場の観察、養殖いかだ・かごの付着海洋生物の採集、さらに地引網でとれた生物の同定や詳細な観察を行います。カキ養殖観察では、井上誠耕園下の浜（池田湾）から漁協の方にいかだまで船に乗せていただき、カキを観察し、付着生物を採集します。その後、ふるさと村・セミナーハウスで顕微鏡を用いて観察・スケッチ、種の同定を行い、海洋生物の生態に迫ります。



探究グループ②

講師：里 浩彰（お茶の水女子大学）

お味噌汁やサラダなどで誰もが一度は口にすることがある海藻。しかし海藻をじっくりと観察したことがある人は多くはないでしょう。本実習では、海藻を実際に手に取り、観察・実験を通じて分類や生存戦略、生態系で担う役割などについて理解を深めます。後半は、海藻をアートの「素材」ととらえて、世界に一つの海藻おしぼアートを制作します。実習の最後にはきっと海藻に対する印象がガラッと変わっているでしょう。



探究グループ③

講師：大崎 章弘（お茶の水女子大学）

屋外の植物は周囲の環境とどのように関わっているのでしょうか？本実習では1人1台ずつ、二酸化炭素量や温度、湿度等をリアルタイムに計測できる装置をお渡しします。計測結果は、無線でiPadから取得できます。参加者はこの測定装置を小豆島の様々な植物に取り付けて、環境に応じた植物のはたらきの違いを探究します。



探究グループ④

講師：榎戸 三智子（お茶の水女子大学）

電気もガスも使わずにお湯を沸かすことはできるでしょうか？太陽の光をうまく集めると、簡単にお湯を沸かしたり調理したりできるのです。本実習では身近な材料でソーラークッカーを作製し、光を効果的に利用する方法を探究します。天候がすぐれないときは、風車を自作して風力による発電を体験し、羽の数や形などの条件により、風車の回転や発電の様子がどのように変化するかを調べ、その法則を探ります。



探究グループ⑤

講師：植竹 紀子（お茶の水女子大学）

瀬戸内といえばレモン！レモンといえばビタミンC！本実習では、還元されると色が変化する性質を持つうがい薬を使って、柑橘類や身近な飲み物に含まれているビタミンCの量を調べます。また、酸化還元反応を利用して、色が変わるまでの時間を調節できる「時計反応」を解析し、反応時間の制御にも挑戦します。思い通りの時間で色が変化するように調節できるかな？！



探究グループ⑥（英語で行われます）

講師：Ivonne Sanchez Segura & Ijeoma Antonia Onwukeme (Ehime University)

OPTIMIZATION OF WINDMILLS LEVERAGING AI (Artificial Intelligence): In this project, students are to observe the operation of a simple windmill model. They will explore the island noting possible challenges of windmill operations peculiar to the area. Next, students will propose possible roles AI can play in windmill operations from the challenges observed (impact felt). Finally, instructors will display sample wind operations leveraging AI.



※活動内容やスケジュールは天候等により変更されることがあります。